

第1回鳴門市地域福祉計画審議会会議録

日時：平成28年9月29日14時から16時10分

場所：市本庁舎3階会議室

出席者：（審議委員18名中17名、敬称略）

徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授 白山 靖彦

徳島弁護士会 高齢者障害者支援センター運営委員会委員長 森 晋介

鳴門市医師会 副会長 高麗 敬司

鳴門市ボランティア連絡協議会 会長 太田 晴清

鳴門市地区社会福祉協議会 会長 大黒 三義

鳴門市民生委員児童委員協議会 会長 松本 久和子

鳴門市子どものまちづくり推進協議会 会長 内藤 隆

鳴門市老人クラブ連合会 会長 小林 弘明

鳴門市婦人連合会 会長 矢野 壽美子

鳴門市身体障害者連合会 会長 山口 勝實

特定非営利活動法人 どりいまあサービス 理事長 山口 浩志

徳島保護観察所 鳴門板野保護区 保護司 元木 カヨ子

鳴門市自主防災会連絡協議会 会長 小川 泰範

徳島県保健福祉部地域福祉課 課長 酒巻 英紀

鳴門市健康福祉部 参与 三宅 敏勝

公募市民 日下 正幸

徳島県社会福祉協議会 次長 竹原 千鶴子

（鳴門市関係者6名）

泉市長、荒川健康福祉部長、大和社会福祉課長、事務局3名

傍聴者：鳴門市社会福祉協議会 会長 多智花亨

鳴門市社会福祉協議会 合同事務局 下地茂 乾万里子 宮本正人 前谷芳史
三木諭

会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長挨拶
- 4 議事
 - (1) 委員長及び副委員長の選任について
 - (2) 鳴門市地域福祉計画策定に係る諮問について

- (3) 鳴門市地域福祉活動計画策定に係る依頼について
 - (4) 鳴門市地域福祉計画及び活動計画について
 - (5) 鳴門市地域福祉計画等策定市民会議の設置について
 - (6) アンケート調査結果報告について
- 5 意見交換
 - 6 閉会

会議資料一覧

- 【資料①】 鳴門市附属機関設置条例
- 【資料②】 鳴門市地域福祉計画審議会運営要綱
- 【資料③】 委員名簿・配席表
- 【資料④】 第1回 鳴門市地域福祉計画審議会資料
- 【資料⑤】 鳴門市地域福祉計画等策定市民会議設置要綱（案）
- 【資料⑥】 「鳴門市地域福祉計画・鳴門市地域福祉活動計画」策定のためのアンケート調査結果報告書

会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 委嘱状を机上交付した。
- 3 司会より委員の紹介、健康福祉部長以下、市の出席者を紹介した。
- 4 事務局より地域福祉計画審議会の説明を行った。
- 5 議事1号について、事務局案を提案し採択された。
- 6 議事2号について、泉市長から地域福祉計画策定に係る諮問がなされた。
- 7 議事3号について、鳴門市社会福祉協議会から地域福祉活動計画策定に係る依頼が行われた。
- 8 議事4号について、事務局より、資料④の説明後、審議を行った。
- 9 議事5号について、事務局より、資料②、⑤の説明後、審議を行った。
- 10 議事6号について、事務局より、資料⑥の説明後、審議を行った。

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

◆議事1号 委員長及び副委員長の選任について

・鳴門市地域福祉計画審議会運営要綱第2条の規定により審議会の委員長及び副委員長は委員の互選により選出することになっているが事務局一任の声があったため、委員長を徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授 白山 靖彦、副委員長を特定非営利活動法人

どりいまあサービス 理事長 山口 浩志とする事務局案として提案。これを了承された。

・白山委員長より、「計画策定のため、皆様と一緒に汗を流していきたい。第6次鳴門市総合計画の5年目であり、上位計画に基づく計画の策定ということでその点を踏まえ、我々自身が主体となって計画策定を進めていきたい。」、山口副委員長より、「このような公式の場で大役をいただきありがとうございます。委員長をしっかりと補佐できるように頑張りたい。介護支援専門員協会会長や住民参加型連絡会代表などの経験に基づき頑張っていきたい。」と挨拶がある。

◆議事2号 鳴門市地域福祉計画策定に係る諮問について

・泉市長より地域福祉計画について意見を求める諮問がなされた。

◆議事3号 鳴門市地域福祉活動計画策定に係る依頼について

・鳴門市社会福祉協議会より、同協議会が策定することとされている地域福祉活動計画についても併せて当審議会で調査・審議して欲しいとの依頼がなされた。委員から特に質問はなく、地域福祉活動計画策定に関する事項も調査・審議がなされることとなった。

◆議事4号 鳴門市地域福祉計画及び活動計画について

※資料④に基づき、地域福祉計画及び地域福祉活動計画について事務局から説明。

委員

アンケートからは市民が協力的であるような印象を受けている。今後、これをうまく利用できるようなるとよい。

副委員長

市民会議やプロジェクトチーム、機関ごとにいろいろな意見が出るのでこの調整役が大事になる。人材発掘や人作りが柱になる。仕組み作りはできている。

◆議事5号 鳴門市地域福祉計画等策定市民会議について

※資料②、⑤に基づき、鳴門市地域福祉計画等策定市民会議の設置について事務局から説明。

委員

心配しすぎかも知れないが、60名の公募は厳しいのではないか。座談会で出てき

た意見の活用はどう考えているのか。自治振興会の役員が審議会に入っていないのも心配である。

委員長

質問は2点、60名集まるのか？自治振興会が審議会に入っていないのは今後の進行に支障にならないかという点かと思うがいかがか。

事務局

まず60名集まるのかという点については、楽観視はしていない。厳しい道のりであると思っているが、8月と9月に地域福祉講演会を開催し市民会議や座談会の参加に関するアンケートを実施したところ、約20名の市民が登録に応じていただいている。今後も地域の活動団体等に声をかけながらできるだけ多くの住民に参加いただけるよう取り組んで行く。

委員

自治振興会の委員をさせていただいている。先日の人権セミナーで他の自治振興会のメンバーが市民会議に参加したいと話していた。

委員

各自治振興会に福祉部会がある。この部会長を是非入っていただけるように働きかけをしてもらいたい。

委員長

市民会議のメンバーに意見はあると思うが年代や性別、障がいのあるなし関係なくいろいろな方に入っていただき、鳴門市全体のバランスを考える必要がある。なぜ60名かというと、私の考えでは鳴門市の人口が約5万8千人、0.1パーセントで約60人、地域の中の方なので0.1パーセントの市民の方でもいろいろなつながりがある。これで60名が妥当と判断したのだと考える。

ここで議事第4号と議事第5号の議決をとらせていただきたい。賛成の方举手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。

◆議事第6号 アンケート調査結果報告について

※資料⑥に基づき、アンケート調査結果について事務局から説明。

委員長

各地区によって傾向が異なるようだが、地区の特性が少し読み取れる。アンケート結果について承認いただけるか。

(全員挙手)

議事はこれで終了だが一言ずつ意見をいただきたい。それではお願いします。

委員

鳴門出身なのだが、住民の手で計画を作ろうとしていることに感銘を受け感謝をしている。人の育成が大切で市民会議の役割が重要。人数の懸念もあるが、幅広い年齢層になるように集めてもらいたい。

委員

本当に困っている人の状況・実態が掴みにくい。これにせまれないと本当の地域福祉計画が作りにくいのではないか。例えば子ども。また、子どもを通して親を見るなどが必要。慎重な実態把握を行っていききたい。

委員

アンケートを見たときに40.5パーセントの回答で内容に疑問があったが割と正確。民生委員をしているがコミュニティ作りが大変。若者はごちゃごちゃ言われたくない。参加しない人が半分ほどいる。一度に大きなコミュニティを作らず、小さなコミュニティをたくさん作り代表に意見を聞いて大きなコミュニティを作るのが良い。

委員

新しく来た人が地域の中に入るのが大変。アンケートで将来の不安の項目で老後の不安が上がっている。この不安は家族に相談するとなっているが、地域で相談ができないということなのか。地域にどのように溶け込むのか、その手助けは何が出来るのか。早く取り組んで行かなければならない。

委員

自治振興会、自主防災会の会長もしているが地域福祉に携わっていききたい。若者は汚い、危ないと空き缶の分別もいやがる。このような人の参加も課題。

委員

家族の居ないお一人様生活が問題になってくると思う。新しい住民と従来住民との交流が進まないことも心配だ。いろいろな人の意見を取り入れて集約できるように頑張りたい。

委員

本日はありがとうございます。数年前に高齢者の孤立死があったが2025年に向けて地域福祉計画がスタートした。福祉課題はエリアごとに違うが市民力、ネットワークで解決が出来るようなすばらしい計画にしたい。

委員

県下の他の市でも福祉計画と活動計画を共に進める例はあったが当初から一体的にするのは初めてな気がする。鳴門市の地域福祉計画が住民主体で地域力で作られることに期待する。

委員

アンケート実施から計画ができるまで2年かかるのは係りすぎかと思っていたが、市民会議で人作りを行うということで納得できた。財産として残るのは計画よりも市民会議ではないか。市民会議で圏域別のグループを作るとなると苦勞も多いのではないか。高校生や大学生の参加も検討してはどうか。

委員

障がい者は気ままに自由に行動出来ない。あるとき障がい者マークのところに駐車したがスペースがなく乗り込めなかった。気遣いができるようになって欲しい。

委員

鳴門市では温度差がある。福祉＝人作りの課題となる。市民会議がどこまで受け止められるか不安がある。地域福祉支援計画とのリンクが気になる。各個別計画との整合性も気にかかる。福祉＝人作りが10年先も安心して暮らせる計画が策定、周知され、安心して暮らせるようになって欲しい。

委員

元気な高齢者、家から出ない高齢者が両極端。この対策に悩んでいる。

委員

市民会議が課題になる。地域ごとに意見が違うと思うので地域ごとに要望を吸い上げるようにして欲しい。市民会議は自動的に永続的に続くのが理想。「今すぐ、僕にもできる。続けることができる。」内容を探っていくとよい。今できていることを洗い出し生かしていくことも考えて欲しい。

委員

これだけの資料作り大変だったと思う。最終的には人と人のつながり。お互いが協力していきながら体制作りを行ってもらいたい。素晴らしいことなので積極的に進めてもらいたい。

委員長

地域福祉計画及び活動計画の市民会議を立ち上げ実行していくことになるが、我々も参画することが大切。市民会議に参加したり体験してもらうことも大切。人の繋がりが強い地域は健康寿命が長い。少しの変化にも他者が気づいてくれる。人との繋がりの作り方を柱にしながら、リーダーを作っていく。その人が人作りをしていくことで永続的な活動ができる。

定刻を過ぎたので事務局にお返しする。

事務局

第2回審議会についてはスケジュールのとおり平成29年6月を予定しているが状況により随時開催する場合がある。市民会議やプロジェクトチーム会議の内容は適宜報告させていただく。

上記、会議録について相違ないことを認め署名する。

平成 年 月 日

平成 年 月 日

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印